県労連あおもり

2013年２月５日　第269号

発行所　青森県労働組合総連合（青森県労連）
〒030-0852 青森市大野若宮 165-19　Tel 017-762-6234

発行人　青森県労働組合総連合（毎月５日発行）定価10円

1992年10月30日　第三種郵便物認可
本紙の購読料は組合費に含まれています。

賃金・退職手当減は違法

国家公務員に続けて 地方公務員にも押しつけ

教育長との交渉は決裂

国家公務員賃金7.8％引下げが昨年４月から実施されています。国公労連は違憲訴訟を起こし闘争中。更に昨年の衆院解散に乗じて、今年１月から段階的に平均400万円の退職手当削減を強行。安倍内閣は、地方公務員にも押しつけています。県教組、高教組からの報告です。

手当削減の反対を訴えた教育長交渉

昨年12月12日に県教委から提示のあった『退職手当大幅削減』に関して、断続的に交渉を重ねてきました。これは昨年３月に民主党政権が国家公務員と民間との差「平均400万円超」の削減を閣議決定し、衆院解散のどさくさの中で前代未聞の〝１日強行採決〟したのを受けて、青森県でも条例「改正」案を提示。

県当局の内容は、国より３カ月遅れの今年４月から段階的に実施。削減率は変わりません。昨年４月からの給与改定は、月例給は据え置かれましたが、一時金が年間平均３万８千円削減されました。

県教組・高教組は一体となって「削減撤回を求める職場決議署名」に取り組み、８号に及ぶ速報を発行。FAX「私たちの声を聞いて！」で職場からの訴えを集めました。これらを背景に給与担当の職員福利課と異例の教育長交渉にまで持ち込みましたが、教育長はお詫びを繰り返すだけ。交渉は決裂しました。

2月23日に春闘決起集会

２月23日（土）13時～15時、県労働福祉会館を会場に県春闘共闘会議「13春闘勝利決起集会」を開催します。講師は、全労連事務局次長・渡邊正道氏。集会後にデモ行進を行います。

デフレ不況の原因は、貧困と格差の拡大。富の集中ではなく、労働者の賃金の底上げが打開策です。確信を持って春闘に決起を！

新年も金曜日行動

原発ゼロめざし粘り強く

青森駅前広場で『原発なくそう！核燃いらない！青森金曜日行動』（主催＝同実行委員会）は、今年２月１日で25回を数えました。第１回目は昨年８月10日。雨の日、雪の日、仕事納めの日も休むことなく続けてきました。

『さようなら原発１０００万署名』に学生、観光客らが吹雪の中、立ち止まって書いてくれる人や「いつも頑張っているね」と声をかけてくれる人も。行動をきっかけに反原発の運動に加わるようになった人も多いに違いありません。

金曜日行動は全国的に広がり、県内では青森の他に八戸、十和田、むつなどでも多彩な内容で継続中。弘前では、青年を中心に「原発ゼロ」を目指し粘り強い運動が続いています。原発と核燃施設がある青森県から運動を一層盛り上げようと張り切っています。

横なぐりの寒風をついて金曜日行動（青森）

3月10日 青森駅前広場で 反原発集会

福島原発事故から丸２年を迎える３月11日の前日の10日、原発ゼロ全国行動が実施されます。青森県は同日に、青森駅前広場で大集会を計画。全員集合！

青森生存権裁判 不当判決に控訴 勝利するまで全力を

記者会見する原告団、弁護団

生活保護の老齢加算の減額・廃止は違憲、違法として取り消しを求めて、提訴以来６年間闘い続けてきた「青森生存権裁判」への地裁判決が１月25日にありました。内容は請求棄却の不当判決。

原告団、弁護団、支援する会、全国連絡会は判決後、地裁近くの日赤ビルで記者会見を行い「控訴をし、勝利するまで全力をつくす」との声明を発表。原告団長の茂木ナツエさんは「判決は、納得いきません」ときっぱり。

駆けつけた支援者らは地裁前の歩道に集まり、吹雪模様の悪天候の中、怒りを込めて抗議のシュプレヒコール。記者会見場での報告集会には原告団、弁護団、支援者など164名が参加。集会の最後に、奥村県労連議長は「生存権裁判は生活保護だけではなく社会保障全体への攻撃と見るべき。労働者・国民が連帯して闘うことが必要」と決意を述べました。

▼昨年11月７日、愛犬が亡くなった。12月で18歳になるところであった。我が家の住人になったのは1995年３月であった。▼二女の高校受験の時で、前々から犬を飼いたいというのが子どもたちの要求であった。ある夜、酔って帰ったら子どもたち３人から哀願され、酔っていたこともあり、二女が高校に合格したら飼ってやると、つい約束をした。口約束では信用できないからと、文書を書かされる羽目になり、後日ペットショップに行き、生後３カ月のメスの柴犬が家族の一員になった。▼ご他聞にもれず散歩は子どもたちが分担してやるという約束であったが、１カ月もしないうちに反故にされ親がすることになった。▼室内で生活しているためなのか、番犬としては立派に役目を果たしていた。家族以外の見知らぬ人が来ると、烈火のごとく怒る。２人ほど被害を受けたので、玄関に「猛犬注意」のステッカーも貼った。▼家族で泊つきの旅行する時も一緒であった。労働組合の野外レクレーションにも連れて行った。亡くなってから２カ月以上経つが、帰宅すると出迎えてくれるような錯覚に陥る。▼東日本大震災で家族や親せき、友人を失った人々の心情は、いかばかりであろうか。

（せ）

E-mail：ao110@kenrouren.jp　　FAX 017－729－2186

県労連が新年旗開き

各地区労連も

新年早々の1月4日、県労連・東青労連の「2013年合同旗開き」が青森市内アップルパレスで開催されました。これには来賓25名、組合員102名（23組合）が参加。センター合唱団の「うたごえ」の後、奥村議長が主催者の挨拶。衆院選における自民党の勝利は、小選挙区制によるものであり、国民の信任ではないことや、春闘は労働者の賃上げ・労働条件改善と、消費税増税、TPP、原発・核燃、安保・オスプレイなど国民的課題と統一した闘いの重要性を強調しました。

来賓、各組合の紹介の後、余興ではクイズやじゃんけんゲームで盛り上がりました。最後は参加者全員で肩を組んで「ガンバロー」を歌って散会しました。

各地区労連の旗開きも開催されました。1月11日には三八地労連（45名参加）、下北地区労連（14名）、上十三地労連（25名）の3地区労連。17日には中弘南黒地区労連（50名）、18日は西北五地区労連（45名）で開催。西北五地区労連は、旗開きの前にブックレット「オスプレイと日米安保」を使い1時間、学習会を行いました。

県労連と地区労連は、新年の闘いを開始しました。

県労連・東青労連合同

▶三八地労連

▶下北地区労連

▶中弘南黒地区労連

▶西北五地区労連

地区労連が“新春行動”

寒風をついて最賃（ティッシュ）春闘（チラシ）配布

東青労連の街頭宣伝

各地区労連による年初めの「新春行動」が行われました。東青労連と中弘南黒地区労連はどちらも8日に6名参加で。三八地労連は24日に4名参加でした。

東青は、青森駅前広場で最賃ティッシュと春闘チラシの配布をしながらハンドマイク演説。中弘南黒は弘前駅出入り口2カ所でチラシ配布。三八は三春屋前で声がけしながら、チラシとティッシュを配布。

青森と弘前は猛吹雪でした。手袋を着けていても手指がかじかむ厳しい寒さ。通行人に必死で宣伝物を手渡しました。「頑張っているね」「ご苦労さん」と声をかけてくれる人も。（※本当にご苦労さまでした）

ひだまり　最賃（ティッシュ）まき

成人式会場で

1月13日、5名の参加でひだまりユニオンは青森市の成人式会場前で最賃ティッシュ配りをしました。この行動は初めての試み。準備したティッシュ650個を短時間でまき切りました。

糸でんわ

パズル挑戦を
また始めます。（柳谷光子・年金者組合）

体調が良い時は
多少とも組合のお手伝いが出来たと思います。（村田稔・年金者組合）

今年も大雪が
心配です。（自治労連・高橋昭一）

世論の誘導、
安倍新首相の勇ましい言葉を垂れ流しているバカメディア、アホメディアは自滅の道へ足を踏み入れたのかも。（長内一・建交労）

選挙結果に
イラついています。「良いお年を」どころではありません。（岡本猛・年金者組合）

今年観た映画81本。
目標は100本です。（長内幸子・建交労家族）

右腕が痛いが
頑張って、ペンを取りました。パズルは良いですね。（宇部好子・県教組）

収入は減る一方、
仕事はきつく税金は増えるし。（佐藤文猛・県国公）

1年を振り返ると
夏の暑さ、冬の寒さに体調を崩し、反省につきます。（伊勢谷渚・私教連）

今年は
〝年女〟！です。（市ノ渡明美・サンヨー支部）

ここで一句。
「津軽路の吹雪に負けず通勤す」（中村友是・私教連）

健康で幸多い年で
ありますように。災害の少ないことを願います。（田代苗美・年金者組合）

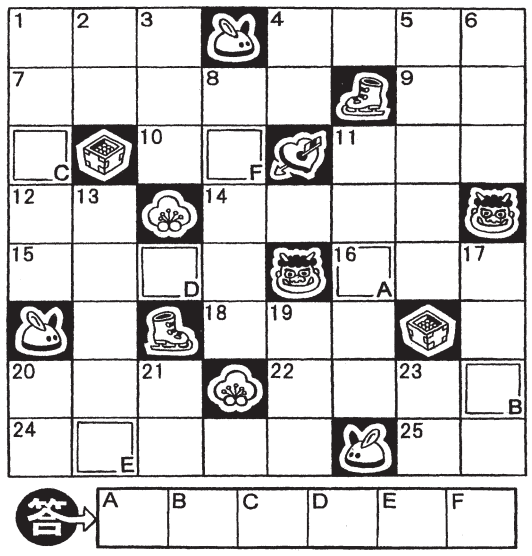
いつもお世話に
なっています。（小笠原久美子・県教組）

第267回クロスワードパズル

●ハガキかFAXかメールに回答。氏名、住所、組合名を書いて送って下さい。余白に職場の様子や最近の出来事などをぜひお寄せ下さい。正解者の中から抽選で図書カードをプレゼントします。●締切＝3月15日●発表＝4月号●宛先＝表面題字下に表記。FAX、メールは欄外に表記。「第267回クロスワードパズル」係まで。

ザ☆クロスワード

出題●モロズミ勝



【ヨコのカギ】
①ミレーの名画「…拾い」
④雪で作ります
⑦風の力で走る船
⑨勝利の…サイン
⑩地下水をくみ上げます
⑪ひしゃくの形をした…七星
⑫能ある鷹が隠すもの
⑭他人の意見を自分の意見のように述べます
⑮相撲で●印
⑯心ばかりの贈り物
⑱物事の来歴。いわれ
⑳暖かい…のマフラー
㉒寄席での奇術や漫才芸
㉔見張りや警備をする人
㉕マラソンは…上競技

【タテのカギ】
①北海道網走市の2月行事「…流氷まつり」
②…鉄。…街
③母親方の血筋。父系の反対語は？
④…は天下の回りもの
⑤99％。ほとんど全部
⑥レフトの反対
⑧ワインのことです
⑪水力発電に使った水を放流するための川
⑬旋律。節まわし
⑰短歌の終わりの七・七
⑲アンダー…を引く
⑳過失が思いがけなく良い結果に、…の功名
㉑アシカ科の哺乳類
㉓仙台は…の都

第265回答えと当選者

《答え》ヨイオトシヲ

《当選者》20通の応募で全員正解でした。当選者は次の方々でした。おめでとうございます。
佐藤文猛（県国公）
柳谷光子（年金者組合）
槇　公彦（県国公）
飯田マサ子（岩手農林支部青森分会）
伊勢谷渚（私教連）

E-mail：ao110@kenrouren.jp　　FAX 017－729－2186